

令和3年3月6日

保護者の皆様

青森県立青森聾学校
校長 中谷 えり子

令和2年度 学校評価結果の概要のお知らせ

早春の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に深い御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施いたしました「学校評価の結果の概要」が下記のようにまとまりましたので、お知らせいたします。

学校評価の流れにつきましては、これまでと同様に、児童生徒、保護者に対するアンケート（学校・寄宿舎）を行い、その結果を踏まえ、教職員の自己評価を実施しています。また、2月に学校評議委員会において行われました学校関係者評価の結果も同時にお知らせいたします。

記

1 学校評価の結果概要

(1)児童生徒アンケート

- ①評価項目 13項目（学校及び学校生活について、授業について、先生について、学習態度・習慣について）
②評価 「はい」または「いいえ」等の2者択一（10項目）、記述（3項目）
③回収率 100%（幼児を除き16名）
④結果

	評価項目	回答
1	「学校が好き」	はい：15名 いいえ：1名 はいの理由（ワード）：友達11名、勉強1名 いいえの理由（ワード）：勉強1名
2	「分かりやすい授業」	社会5名、国語4名、算数・数学4名、理科1名、 外国語・英語4名、音楽1名、全教科2名
3	「分かりにくい授業」	算数・数学3名、古典2名、道徳1名、体育1名、 なし8名
4	「気持ちを話す先生がいる」	いる：14名、いない：2名
5	「授業の時間は守られている」	はい：13名、いいえ：3名
6	「学校でいじめを受けている とすることがある」	ない：16名
7	「学校の様子を家で話す」	はい：10名、いいえ：6名
8	「あいさつをすすんで行う」	はい：15名、いいえ：1名
9	「交通ルールや学校の決まり を守っている」	はい：15名、いいえ：1名
10	「先生がくる前に授業の準備 をしている」	はい：13名、いいえ：3名
11	「授業に一生懸命参加している」	はい：16名、いいえ：0名
12	「宿題をきちんと行っている」	はい：14名、いいえ：2名
13	「予習、復習をしている」	はい：8名、いいえ：8名
意見・要望		なし

⑤総括及び改善策

子供たちの学校が好きな理由にも嫌いな理由にも友達との人間関係や勉強の分かりやすさが大きく影響しています。子供たちが、楽しく充実した学校生活を過ごすためには、友達や先生とのよりよい人間関係づくりと分かる授業づくりが必須条件です。

交通ルールの遵守やあいさつの励行など規律ある生活を送っている児童生徒が多い一方で、学習に関しては、宿題も取り組めていない児童生徒が若干名います。また、宿題以外の勉強を行っていない児童生徒は、5割に達しています。家庭においては、学校のことを話さないと答える子供は、全体の38%で、中・高等部の50%という結果でした。昨年度は、中・高等部の75%であったことから改善の傾向が見られていますが、今後も学習や生活全般において保護者と連携を深めながら、指導を行っていく必要があります。

(2)保護者アンケート

【学 校】

①評価項目 19項目（学習指導、生活指導、進路指導、PTA活動、安全・健康管理、環境・美化学校徴収金の管理等に関する項目）

②評 価 4点満点

（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）

③回収率 100%（26名）

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.8（H31年度：3.8）

イ 各項目の平均値の最低 3.2（H31年度：3.2）

ウ 全項目の平均値 3.6（H31年度：3.6）

⑤意見・要望

- ・子供は毎日楽しそうに登校しています。学校では、学部を超えて上級生が下級生の面倒を優しく見ているといつも感じます。また、教職員の皆様も、積極的に話しかけて下さり、子供達も楽しそうにコミュニケーションをとっています。これからも続けてほしいです。
- ・いつもお世話になっております。親以上に健康観察をしていただきありがとうございます。学級新聞を毎週発行してくださり、学校での様子が分かって安心します。このコロナ禍でのご指導ありがとうございます。
- ・幼稚園での付き添いについて
- ・一人一人の耳の状況の把握、補聴器や人工内耳のメンテナンスについて
- ・人工内耳、補聴器に関する専門性について

⑥総括及び改善策

全項目を平均すると3.6であり、「おおむねそのとおり」以上でした。

本校の学校経営の重点として取り組んだ8、9の授業や指導に関わる項目が向上しています。また、施設設備や教材備品の整備に関する14の項目が向上しました。今年度整備が進んだエアコンの設置や大型スクリーンの設置、リモート授業に関わる備品等の整備が影響していると考えられます。新型コロナウイルス感染症の予防対策として取り組んだ保健衛生に関する項目15、16の項目も3.8と評価が高い傾向がみられました。

一方で、11補聴器の使用や管理に関する項目が、昨年度に引き続き低い結果となりました。専門的知識と補聴器や人工内耳の使用や管理に関する職員の研修に一層取り組んで行く必要があります。また、コロナ禍の影響で行事の縮小や中止があったことから、4、18の項目が下降しました。今後も子ども一人一人や保護者、地域の願いに沿った指導・支援の充実と適正な教育環境の整備に努めていきます。

【寄宿舎】

①評価項目 15項目（生活指導、安全・健康管理、環境・施設設備、帰省帰舎・緊急時の対応、徴収金の管理等に関する項目）

②評 価 4点満点

（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）

③回収率 100%（10名）

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.7（H31年度：3.8）

イ 各項目の平均値の最低 3.4（H31年度：3.6）

ウ 全項目の平均値 3.6（H31年度：3.7）

⑤意見・要望

- ・いつもお世話になっております。舎の部屋にもクーラーをつけてくださり、過ごしやすいと本人も言っていてありがとうございます。先生方を友達と思っているところがあり、態度が悪い時があると思います。その時は、厳しく指導してもかまいませんのでよろしくお願いします。

⑥総括及び改善策

全項目を平均すると3.6であり、「おおむねそのとおり」以上でした。今後も、舎生に寄り添いながら適切な環境のもと生活指導の充実に努めていきます。

(3) 自己評価

【学 校】

①評価項目 30項目（指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について）

②評 価 4点満点

（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）

③回収率 100%（24名）

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.8（H31年度：3.8）

イ 各項目の平均値の最低 3.1（H31年度：3.2）

ウ 全項目の平均値 3.4（H31年度：3.6）

⑤意見・要望

- ・学部のキャリア教育計画について
- ・学校課題の職員間での共通理解について
- ・多忙化の解消について

⑥総括

全評価項目において、平均が3（おおむねそのとおり）以上であり、全体の平均値は昨年度よりやや下降したものの、大きな変化は見られませんでした。

今年度重点として取り組んだ1-4「実態や特性に配慮した授業の工夫」について、少しずつではありますが、年々向上が見られています。4-2「公開講座等聴覚障害への理解・啓発」に関しては、今年度の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により、中止せざるを得なかったこともあり、評価が0.3ポイント下降しました。5-1「学校課題の職員間で共通理解」についても、0.3ポイント下降しており、改善が求められます。

【寄 宿 舎】

①評価項目 29項目（指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について）

②評 価 4点満点

（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）

③回収率 100%（9名）

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.7（H31年度：3.9）

イ 各項目の平均値の最低 3.0（H31年度：3.1）

ウ 全項目の平均値 3.5（H31年度：3.5）

⑤意見・要望

- ・カーテンのクリーニングについて
- ・寄宿舍の行事予定の保護者配布について
- ・電話、FAXの更新について

⑥総括

寄宿舍職員の自己評価では、全評価項目において平均が3（おおむねそのとおり）以上であり、全体の平均値も横ばいの傾向にありました。評価項目において、平均が3（おおむねそのとおり）より低い項目はありません。

せんでした。

3-1「キャリア教育 生活力アップのための内容の見直し、実践」が、0.3ポイント下降しました。今年度から名称を変え、舎生からのアンケートから、課題に応じた学習会を設定しています。今年度の実施を踏まえ、アンケート項目の文言の見直しを図ると共に、学習会の内容や質についてさらに検討していきます。

【学校】【寄宿舎】の総括及び改善策

学校、寄宿舎共に全体的に維持の傾向にあります。

学校、寄宿舎職員の自己評価に共通して3.7以上の高評価だった項目は、4-1「早期教育相談及び多様な教育相談を実施している」、5-11「各種便りやホームページ等の活用」でした。今後も、センター的機能の充実を図り、聴覚障害教育の理解、啓発を図るためにも積極的に情報を発信していきます。

学校では、1-4「実態や特性に配慮した授業の工夫」が、年々向上しています。一方で、1-5「幼児児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着・向上」、1-6「聴覚障害の専門性の向上」に関しては、一昨年度、昨年度と同様に3.2ポイントと依然として低い傾向が続いています。このことから、幼児児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着・向上のために、幼児期から概念の育ちに繋がる直接体験、繰り返しの学習、掲示物を活用した日常的な確認、本人の学び方に合った指導方法をさらに工夫していきます。中・高等部段階においては、生徒の実態や進路に応じて学習内容を精選し、定着のために自分自身で学習する力をつけるための取組を進めます。また、校内研修による指導者間における学び合いや授業参観、県内外における研修に積極的に参加し、教員の教科指導及び聴覚障害教育の専門性の向上を図っていきます。

自由記述にあった、学校課題の職員間での共通理解については、「報告・連絡・相談」を徹底し、日頃から、情報交換に努めていきます。また、多忙化の解消のため、業務分担や仕事の分担、効率化に向けて各学部分掌において、見直しを図っていきます。

寄宿舎においては、全体に維持の傾向にありますが、舎生の生きる力を高めるための効果的な指導の在り方について検討していきます。舎生の日々の取組に対して、目的意識・課題意識を持たせ、取組を継続させるために様々な手段を工夫し、モチベーションを高められるよう指導していきます。そのために振り返りを大切にしたり、達成感や見通しをもたせるようにしたりして、職員間で情報を共有し、共通認識をもって取り組んで参ります。

2 学校関係者評価(令和3年2月4日に実施)

(1)授業の充実について

- ・オンライン授業はコロナがあったからこそで、ピンチがチャンスになった例であると思う。
- ・家では学校の話をしていない生徒がいるが、家でゲームやタブレットに夢中で話をしないのか危惧している。

(2)指導力・専門性の発揮について

- ・学校教育というのは、生徒が卒業するまでに自立を促すものである。高校生が学校の様子を家で全て話すことがはたしていいことなのか。自分で判断して責任をもって行動することが大事である。家庭によっては早く自立している場合もあるだろう。他人の痛みがわかることも自立の一つである。

(3)安全・安心な教育的環境づくりについて

- ・新聞やテレビ等を見ていると様々な情報があり、全ての情報の中から正しい情報を教えてあげる必要がある。自分を大切にする、命を大切にするという基本的なことを守ってほしい。

(4)地域の要請に応え貢献する学校について

- ・最近、テレビ等での記者会見で手話通訳が付いている場面を多く見る。手話がいつの間にか普通になっている。手話言語条例の制定で手話通訳の意識が向上している。青森聾学校は県内をリードする立場にある。職員の専門性を再度認識してリードしてほしい。
- ・手話言語条例が制定され、自分でも手話を覚えたいといけなく思っている。子供に新しい手話を尋ねられても教えることができない。学校ではどのようにして手話を教えているのか。また、何か資料等があれば家庭にも教えてほしい。

☆近日中に児童生徒アンケート、保護者アンケート、寄宿舎に対する保護者アンケート、学校自己評価、寄宿舎自己評価のそれぞれの詳細な集計結果をホームページに掲載しますので、そちらも御覧ください。

